



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート

第121号(2014年2月28日)



【カタールが観光産業に大型投資を計画】

カタール政府の観光当局はカタールの観光立国化への戦略の一環として、2030年までに観光業に最大約450億ドルを投資すると発表しました。観光当局の責任者Al Mohannadi氏によれば、ポスト・カーボン経済を支える産業として、観光業の持つ可能性に注目しているとのこと。

同氏は「観光業はいまだ手をつけられていない資源であり、カタールを観光大国に導くことは石油、ガス時代からの最初の一步だ」と話しています。同氏は2030年までにカタールを訪れる観光客の数を700万人以上にする事を挙げていますが、これは現在の約7倍にあたります。また、観光業がGDPに貢献している割合は現状では1%に満たないとされていますが、これを2030年までに3%以上に引き上げたいという目標も掲げています。観光業に従事している被雇用者は2012年の段階で約25,000人ですが、上記の目標に伴い、2030年までに約12万7,000人に増加するのではないかと試算されています。

世界観光機関によればグローバルでの旅行客は2012年に始めて10億人を超えて、2030年には18億人に達すると予想されています。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



【ドバイで現地住民向けモールのプロジェクトが始動】

ドバイではこれまで主に観光客向けと思われるような大型のショッピング・モールの開発が相次いできましたが、今回新たに住民向けのモールの開発が始まります。

今後“My City Centre”と名付けられたショッピング・モールがあちこちで建設されることとなります。開発を担うMajid Al Futtaim社は、より実用的で生活志向のお店の集合体になると発表しています。最初に建設される“My City Centre”は5,540平方メートルの敷地に21の店舗が入る予定となっており、フランスのカルフルを核に、銀行やレストラン、電気屋、アクセサリーショップ、薬局などから構成されるとのことです。

【イスラエル中銀が9月以来の利下げ】

イスラエルの中央銀行が昨年9月以来の利下げを実施しました。事前予想では利下げをするかどうかの意見は分かれていました。

物価水準はデフレの兆しもあり、1月は前月比で0.6%下がり、前年同月比でもわずか1.4%の上昇と、12月時点の同1.8%の上昇から停滞していました。また、経済成長率も第4四半期は年率2.3%に留まりました。

一方で不動産市場は活況を呈しており、住宅価格は大幅に上昇しています。2月の初旬にはIMFが「利下げ実行時には住宅価格の過熱を悪化させかねない」と警告しています。

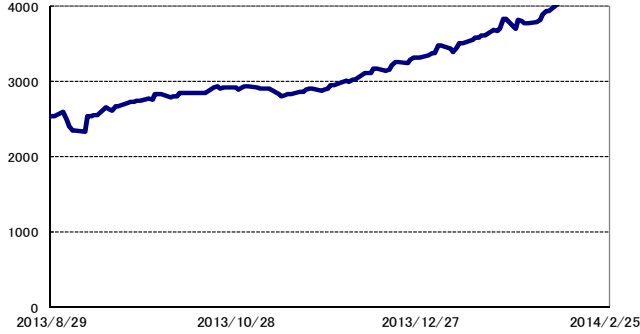


本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。

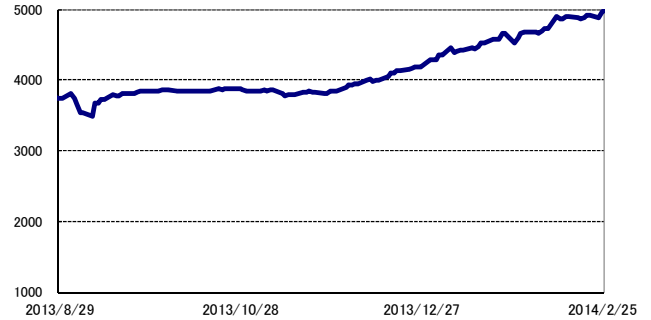


【ご参考】 中東(GCC)地域の株価推移 (各市場の直近6ヶ月)

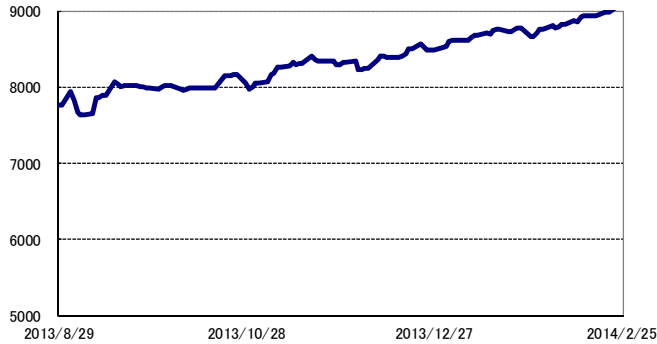
ドバイ金融市場総合指数



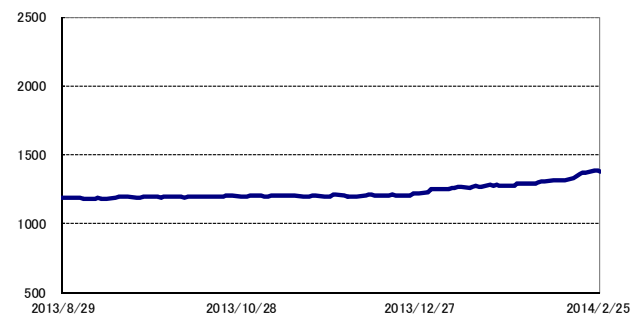
アブダビ証券取引所株価指数



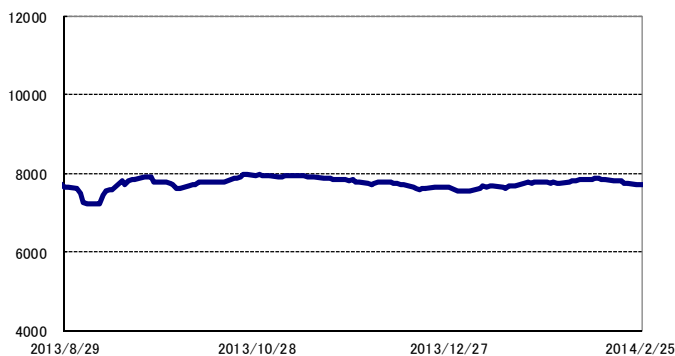
サウジアラビア タダウル全株指数



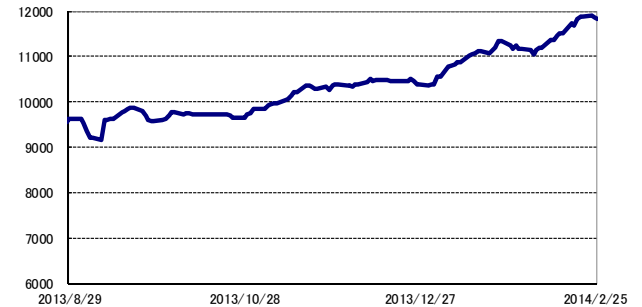
バーレーン全株指数



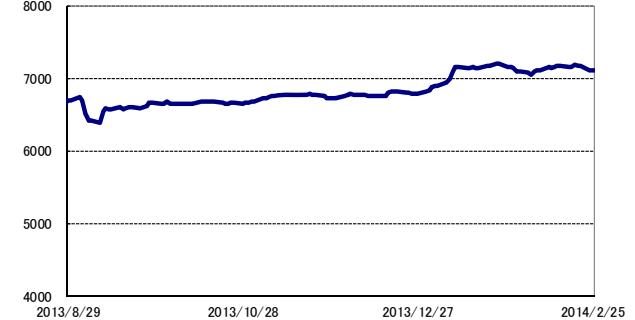
クウェート証券取引所指数



カタール DSM指数



オマーン マスカットMSM30指数



出所:FACTSET



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。